

第2回 岐阜支部評議会の概要報告

開催日時	平成30年7月19日(木) 10:00~11:20
開催場所	濃飛ニッセイビル地下1階 会議室
出席評議員	紀ノ定議長、梅津評議員、中山評議員、宇野評議員、 内藤評議員、村瀬評議員、北川評議員、佐伯評議員
議題	(1) 平成29年度全国健康保険協会決算見込みについて【資料1】 (2) その他【資料2】
議事概要	<p>議題1. 平成29年度全国健康保険協会決算見込みについて</p> <p>事務局より【資料1】に沿って説明を行った。</p> <p>【主な意見等】</p> <p>(事業主代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少の割には被保険者数が増加しているのが収支面で大きかったと思うが、将来的に被保険者数が減り始めた時が大変だと感じた。また、高額薬剤を使った場合は健康保険から外すようにしないと制度の維持が難しいのではとも感じた。 <p>(事業主代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人が入国して高額な手術だけ受けて短期間で帰国するといったニュースも聞くので、そういったところにも注意を払っていく必要がある。 <p>(事業主代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> この10年間は良かったかもしれないが、今後の10年間も考えていかなければならない。人口減少により働き手が不足すれば保険料率を上げなければ対応ができなくなり、負担感が増えることを危惧している。 <p>(学識経験者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現時点では安定している印象を受けたが、高齢化、人口減少は間違いなくやってくるので、長いスパンで考えていく必要があるかなと思う。 <p>(被保険者代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> この先、組合健保の解散により協会けんぽでの受け入れが考えられる状況で、当面10年を見通して考えていくべきと考える。 法定準備金が3.1カ月分積み上がっているので、財務省の動向も注視していく必要がある。 <p>(被保険者代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> IT化などにより、ヒトがモノに置き変わっていくという状況があり、そういった影響が不透明な部分も多くあるので、毎年状況を見ながら、協会けんぽとして財政をどう立てていくかを考えていく必要がある。

(被保険者代表)

- ・被保険者数の伸びは、本来は適用対象であったが届け出がされていない人たちの加入によるところが大きく、今後の変動には不透明感がある。

(被保険者代表)

- ・さきほど話題に出た外国人の保険診療の問題で、協会けんぽとしてはどのような対策をしているのか

(事務局)

- ・適用業務は年金機構が行っており、協会けんぽとしては直接手を出していない部分ではあるが、適用業務は厳格化の方向にあるとは聞いている。

(学識経験者)

- ・数字の推計だけ見ると、明るい未来は描けないという印象を受ける。近い将来、制度改革の必要性も生じるのではと思っている。

(学識経験者)

- ・たとえば東京オリンピック後の状況を踏まえて数字予測を出していくことも必要かもしれない。今後を考えると懸念事項も多い。もう少し先を含めて数字を出していった方が良いのでは。

(事務局)

- ・将来的な様々なシミュレーションについて、本部では行っていると聞いている。

(学識経験者)

- ・過去 10 年間の実績を踏まえつつ、周辺環境の変化など、今後起こりうることをしっかり理解しておく必要があると思っている。

(事業主代表)

- ・準備金残高のシミュレーションで残高が減り始める主な要因は何か。

(事務局)

- ・高齢化により医療費が増加し、拠出金の増加も想定される。

(学識経験者)

- ・いろんな試算が出ていると思うが、2040 年頃は高齢化の影響がより顕著になる時期かと思うが、そういった状況を考えると法定準備金が足りなくなると解釈でよいのか。

(事務局)

- ・今後 10 年のシミュレーションはごく粗い試算ではあるが、準備金が足りなくなる蓋然性は高いと考える。それを見据えていろいろな施策を講じて、医療費の総額を人口の減少に合わせてサイズダウンしていこうという動きになっている。

(被保険者代表)

- ・今後は受益者負担ということで、患者負担が上がるという考えはされているのか。

(事務局)

- ・後期高齢者の一部負担金割合を 1 割から 2 割に引き上げできないかという意見はあるようだが、現在 3 割負担の方の一部負担金割合をさらに引き上げるという話は出ていない。

議題 2. その他

事務局より【資料 2】に沿って、平成 31 年度のパイロット事業、支部調査研究事業への応募について報告を行った。

特 記 事 項

- ・次回開催は平成 30 年 10 月下旬を予定